

令和6年度 学校評価実施状況報告書

1 学校評価の流れ

年度当初に「教育方針」の理念、教育目標、重点項目を踏まえて、それらの実現に向けて各校務分掌・学年団・教科・学科がそれぞれ重点目標と具体的方策を設定した。評価にあたっては、自己評価としてそれぞれの重点目標がどの程度達成できているかを問う形で、2回の評価を行った。10月に上半期における取組に対する中間評価を行い、2月下旬には下半期を加えた年間評価を実施した。保護者からの評価や教員間での相互評価を得るために、12月に保護者および教職員を対象にそれぞれアンケートを実施した。

それらの集計結果等を参考に、1月下旬には各校務分掌・学年団・教科・学科が今年度の成果と課題を総括し、来年度に向けての改善策をまとめた。また、2月7日に学校評議員会（学校関係者評価）を開催した。学校評議員会では、学校の取組みについて紹介し、保護者アンケート・教職員アンケートの調査結果について説明した。また、説明や資料を基に今年度の学校の取組に対する意見・感想をいただき、今年度の学校評価を終えた。

《学校評価年間計画》

	生 徒	保護者	職 員	学校評議員
4月				・委嘱
5月	・授業評価の項目検討	・PTA総会 (前年度評価結果) ・公開授業アンケート	・学校評価 年間計画策定 ・学校自己評価 重点目標等策定	
6月				・第1回学校評議員会 (学校評価年間計画)
7月	・授業評価 ・学校生活に関する 調査(第1回)	・学級懇談会 ・教科書選定 (PTA役員代表)	・授業評価分析	・教科書選定 (学校評議員代表)
8月	・授業評価報告			
9月		・総合祭		・総合祭
10月		・学校教育評価 項目検討	・学校自己評価 (上半期)	
11月		・公開授業アンケート		・公開授業アンケート
12月	・学校生活に関する 調査(第2回)	・学級懇談会 ・学校教育評価実施	・学校教育評価実施	・学校関係者評価 項目検討
1月				
2月	・インターンシップ アンケート (工業科2年)	・学校教育評価 結果報告 (PTA理事会)	・学校自己評価(年間) ・成果と課題、 改善策の取りまとめ	・第2回学校評議員会 (学校関係者評価)
3月		・HPで学校教育評価 結果を報告		

2 評価結果のまとめ

(1) 学校自己評価結果

各校務分掌・学年団の今年度の取組に対する自己評価結果は、年間では、3＝「だいたいできている」が多かったが生徒指導部では、2＝「ほとんどできていない」から変化はないが、昨年度から女子生徒の服装、化粧の指導等の指導面での課題が残っていた。今年度は、指導方針を保護者に知らせ、段階を踏んで指導を徹底することですすめていった。来年度も同様な取り組みを進めていきたい。

各教科での今年度の取組に対する自己評価結果は、年間では、3＝「だいたいできている」が多かった。しかし、商業では、日頃の学習習慣の定着や資格検定への合格率など、目標としていたレベルまで到達できていたため、4＝「よくできている」という結果になっている。日々の課題の検討や個別指導の対応などができていたためであると考えられる。来年度以降、継続していきたい。

総合祭やS-MARTでは地域の方々に多く来ていただくことができ、本校の教育活動を見ていただくことができた。しかしながら、S-MARTについては、行事の見直し等により、今年度で終わることになった。また、それ以外の行事でも従来と同等な行事の実施することができた。また、授業活動では教室内に設置された大型プロジェクタやタブレット等のICT機器を多くの先生が活用し、生徒の興味・関心を高め、効果的な授業を実践することができた。

(2) 学校教育評価（保護者アンケート）の分析と考察

昨年度と同様に、校務分掌、学年団の取組について、すべての質問項目に対して、A＝「そう思う」、B＝「だいたいそう思う」の肯定的な回答がほぼ8～9割であった。しかし、E＝「判断ができない（わからない）」の回答が昨年度より高くなっており、昨年度と同様、人権・同和教育部や教育相談部、教育研究部が高くなっている。人権だより等の活動の報告やFacebook、ホームページを活用した情報発信など、行っているが、発信した情報を見ていなかったり、教育相談部のように必要としている生徒への業務が中心であったりするため、E＝「判断ができない（わからない）」の回答が増えたと考えられる。

また、本校のホームページや保護者専用のサイトの閲覧状況について調査については、昨年度と比べ、多くの保護者が見てくれている結果となった。向上した要因として、積極的なホームページの更新が考えられる。今後も積極的にホームページの更新し、情報発信を行っていきたい。

保護者の意見の中に、学校公開日の日数を増やしてほしい、選択授業の調査時期などのご意見をいただいた。1月の職員会議でアンケートの状況や意見を説明し、共有した。今後改善できる部分については担当する校務分掌に検討してもらい、改善を進めていきたい。

今年度も省力化、省資源化のためにアンケートをインターネット上のWeb入力で行い、教員の集計業務は省力化している。特に3年生の保護者のアンケートの回答率が非常に低かった。アンケートの実施についてClassi等を利用して、保護者に通知し、1年生、2年生は懇談の中でもアンケートの周知を行った。3年生については、該当者だけの懇談だったため、周知があまりできなかったため、アンケートの周知方法について、改善する必要がある。

(3) 学校教育評価（教職員アンケート）の分析と考察

各評価項目のほとんど昨年と比べ、評価は向上している。中でも事務部や進路指導部、教育相談部、人権・同和教育部等では、評価が高く、ICTを活用した情報発信や授業の取組の成果があらわれている。

また、昨年度評価が低かった生徒指導部では昨年度と比べA＝「そう思う」の数値も向上し、生徒指導面での共通理解が進み、効果があらわれている。

職員の意見では、ICT化によるタブレットの使用の問題点やスクールミッション、スクールポリシーの共通理解の必要性、定期的に改善のためのアンケートの実施等の意見をいただいた。

今回の意見を参考に生徒のタブレットの使用方法や全教職員間スクールミッション、スクールポリシーの共通理解や業務改善のアンケート実施等について検討し、少しの時間でも話し合いの場を持つようにしていきたい。

(4) 学校関係者評価

以下は、評議員の意見である。

- ・今年も文化祭、公開授業に参加させていただきました。他でも時々学校に寄せていただきました。いつ行っても先生も生徒も気持ちよくあいさつしてもらいとても嬉しく「感じが良いな」と感じた。
- ・大人も子どもも挨拶からはじまると考える。最近、高役職のかたでもあいさつができない人が多い。
- ・初めて高等学校の授業や教科書の内容に触れる機会をもらい新鮮な感覚で参加できた。
- ・元教員の立場から見ると、どの先生方も生徒たちのために工夫や努力をされていると思った。
- ・手がかかるような生徒に対しても前向きに、そして明るく接していたことが印象に残った。
- ・「学力」についての課題はあると思われますが、基礎的な学力をいかに定着させていくかだと思う。

3 次年度の課題

- ① スクールミッションやスクールポリシーについて職員会議等で周知を行い、共通理解を図り、教職員全体で取り組みを進めていく。
- ② 来年度もホームページや保護者用サイトへの閲覧を増やし、本校の教育活動を知ってもらえるようにする。
- ③ Webアンケートで実施による保護者の回答率を上げるための工夫をする。